

第 27 回通常総会

2021 年 3 月 16 日（火）

一般社団法人 言語処理学会

The Association for Natural Language Processing

第 27 回通常総会次第

日時 2021 年 3 月 16 日 (火) 11 時 30 分～12 時 30 分

会場 北九州国際会議場 11 会議室

総会次第

第 1 号報告 2020 年度事業報告

第 1 号議案 2020 年度決算報告

第 2 号報告 2020 年度監査報告

第 3 号報告 2021 年度事業計画

第 4 号報告 2021 年度予算案

第 5 号報告 2021 年度代議員構成

以上

2020 年度事業報告

1. 概要

言語処理学会の主要な活動として、論文誌「自然言語処理」の発行および年次大会の開催を計画通りに進めました。「自然言語処理」に関しては、第 27 巻の 1 号から 4 号を発行しました。第 26 回年次大会は、2020 年 3 月 17 日(火)から 19 日(木)まで、オンラインで開催しました。

2. 会員現況

正会員	1005 名 (+123) [うちシニア会員 20 名 (±0)]
学生会員	344 名 (+229)
賛助会員	30 組織 (+7), 31 口 (+7)
特殊購読会員	33 組織 (+1), 41 口 (+1)

(2020 年 12 月 31 日現在, 増減は 2019 年 12 月 31 日との比較)

なお, 定款第 11 条 1 項 2 号にもとづき, 会費を 1 年以上滞納した会員 68 名(正会員 45 名(うちシニア会員 0 名), 学生会員 23 名)については, その会員資格を喪失したものとして扱います。

3. 会誌の発行

第 27 巻第 1 号 (2020 年 3 月 15 日発行, 通巻 123 号)

巻頭言, 一般論文 2 編, 応用システム論文 2 編, 技術資料 1 編, 編集後記, 会告

第 27 巻第 2 号 (2020 年 6 月 15 日発行, 通巻 124 号)

巻頭言, 一般論文 13 編, 編集後記, 会告

第 27 巻第 3 号 (2020 年 9 月 15 日発行, 通巻 125 号)

巻頭言, 一般論文 6 編, 学会記事 9 編, 編集後記, 会告

第 27 巻第 4 号 (2020 年 12 月 15 日発行, 通巻 126 号)

巻頭言, 一般論文 7 編, 学会記事 8 編, 編集後記, 会告

4. 第 26 回年次大会の開催

◇ 開催日: 2020 年 3 月 16 日(月)～3 月 19 日(木)

◇ 会場: Zoom によるオンライン開催 (大会本部 茨城大学 水戸キャンパス)

◇ プログラム

[一般発表 口頭発表] 3 月 17 日～19 日 発表件数 129 件

[一般発表 ポスター発表] 3 月 17 日～19 日 発表件数 216 件

[一般発表 テーマセッション発表] 3 月 17 日～19 日 発表件数 51 件

金融・経済ドメインのための言語処理(発表件数 14件)

言語教育と言語処理の接点(発表件数 5件)

ロボティクス・グラウンディングと自然言語処理(発表件数 8件)

化学分野への言語処理の応用(発表件数 12件)

翻訳とは何か? 何ではないか?(発表件数 12件)

[招待講演](2件) 3月17日予定→中止

当初は以下の2件の招待講演を予定していたが、オンライン開催に変更に伴い、講師の方が講演を辞退されたため、中止とした。

水本篤 先生(関西大学)

「言語教育が自然言語処理に期待すること」

松本裕治 先生(奈良先端科学技術大学院大学／
理化学研究所革新知能統合研究センター)

「知識と自然言語処理」

[招待論文講演] (5件) 3月19日

「CKY に基づく畳み込みアテンション構造を用いたニューラル機械翻訳」
(Vol. 26, No.1, pp.207-230)

渡邊大貴, 田村晃裕, 二宮崇, Teguh Bharata Adji

「ニューラルネットワークを利用した中国語の統合的な構文解析」
(Vol. 26, No.1, pp.231-258)

栗田修平, 河原大輔, 黒橋禎夫

「発話テキストへのキャラクター性付与のための音変化表現の分類」
(Vol. 26, No.2, pp.407-440)

宮崎千明, 佐藤理史

「日本語の文法機能タイプ付き単語依存構造解析」
(Vol. 26, No.2, pp.441-481)

田中貴秋, 永田昌明

「複単語表現を考慮した依存構造コーパスの構築と解析」
(Vol. 26, No.4, pp.663-688)

加藤明彦, 進藤裕之, 松本裕治

[一般チュートリアル講演](4件) 3月16日予定→中止

当初は以下の4件のチュートリアルを3月16日に実施する予定であったが、この日は発表者によるオンライン会議システムの接続テストを実施したため、中止とした。

持橋大地 先生(統計数理研究所)

「ガウス過程と自然言語処理」

横川博一 先生(神戸大学)

「外国語学習者の言語情報処理はいかに熟達化するかーその心的プロセスに迫る」

鈴木大慈 先生(東京大学)

「深層学習の理論」

川崎義史 先生(東京大学)

「文献学への自然言語処理技術の応用 ―スペイン語文献を例にして―」

[スポンサーイブニング] 3月16日予定→中止

現地開催の中止に伴い、スポンサーイブニングは中止とした。

[オンライン懇親会] 3月18日

3月18日 18:30~19:30 に Zoom のオンライン会議室を用いてオンライン懇親会を開催した。これまで学会のオンライン懇親会は前例がなく手探りでの企画であったが、約 200 名の参加者が集まり、オンライン懇親会は盛況であった。

◇ 年次大会優秀賞・若手奨励賞

最優秀賞 2 件, 優秀賞 6 件, 若手奨励賞 13 件の論文を選定し, クロージングにて公表・表彰した. 今回から賞の選考を以下のように変更した. (1) 論文審査 1 件の論文につき 5 名の審査員が審査を行い, 優秀賞, 若手奨励賞の受賞にふさわしいかを 5 段階で評価した. 審査員の総数は 213 名で, 前回(194 名)より約 1 割増えた. (2) 最終選考審査員の評点を一般化線形混合モデルで補正した後, 基本的にその評点の順に授賞論文を決定した. 最終選考委員は 4 名で, 授賞件数の決定ならびに個々の論文に重大な問題がないことの確認を行った. これまでは 1 次審査と 2 次選考の二段階で賞を選考したが, 今回は実質的に 213 名の審査員による論文審査の一段階で選考した. 2 次選考を廃止したことで, 論文審査にかける期間を前回の 12 日間から 22 日間に延ばすことで審査員の負担を軽減した.

第 26 回言語処理学会年次大会優秀賞

■最優秀賞 (2 件)

B4-5 ベクトル長に基づく自己注意機構の解析

○小林悟郎 (東北大), 栗林樹生 (東北大/Langsmith), 横井祥, 鈴木潤,
乾健太郎 (東北大/理研)

D1-2 超球面上での最適輸送に基づく文類似性尺度

○横井祥, 高橋諒, 赤間怜奈, 鈴木潤, 乾健太郎 (東北大/理研)

■優秀賞 (6 件)

D1-4 擬似タグと線形移動ベクトルを用いた単一モデルによる擬似モデルアンサンブル

○桑原亮介 (東大), 鈴木潤 (東北大), 中山英樹 (東大)

D3-2 テキストを通して世界を見る:機械読解における常識的推論のための画像説明文の評価

○Diana Galvan-Sosa (東北大), 西田京介 (NTT), 松田耕史 (理研/東北大),
鈴木潤, 乾健太郎 (東北大/理研)

D4-1 大規模疑似データを用いた高性能文法誤り訂正モデルの構築

○清野舜 (理研/東北大), 鈴木潤 (東北大/理研), 三田雅人 (理研/東北大),
水本智也 (フューチャー/理研), 乾健太郎 (東北大/理研)

F1-3 センター試験を対象とした高性能な英語ソルバーの実現

○杉山弘晃, 成松宏美 (NTT), 菊井玄一郎 (岡山県立大), 東中竜一郎 (NTT),
堂坂浩二 (秋田県立大), 平博順 (大阪工大), 南泰浩 (電通大),
大和淳司 (工学院大)

P4-12 会話ドキュメントに対する発話単位系列ラベリングのための自己教師あり事前学習

○増村亮, 庵愛, 高島瑛彦 (NTT)

P6-2 鏡映変換に基づく埋め込み空間上の単語属性変換

○石橋陽一, 須藤克仁, 吉野幸一郎, 中村哲 (NAIST)

第 26 回言語処理学会年次大会若手奨励賞 (13 件)

A3-1 出力と文脈の自己相互情報量に基づく文脈翻訳

杉山普 (東大)

A4-2 見出し生成の忠実性の改善

松丸和樹 (東工大)

B4-2 文脈を考慮した単語ベクトル集合からの単語領域表現

山内崇史 (阪大)

B5-3 談話の削除不可能性に基づく教師なし談話核性分類

西田典起 (東大)

C5-3 BERT と Refinement ネットワークによる統合的照応・共参照解析

植田暢大 (京大)

D2-5 JParaCrawl:大規模 Web ベース日英対訳コーパス

- 森下睦 (NTT)
- D4-2 文法誤り訂正のための自己改良戦略に基づくノイズ除去
三田雅人 (理研/東北大)
- F5-3 多言語極性辞書の構築とその包括的評価
岩本蘭 (慶應大)
- G4-1 Data Augmentation Technique for Process Extraction in Chemistry Publications
Yuni Susanti (富士通研)
- P1-19 回答の根拠を解釈可能な機械読解
西田光甫 (NTT)
- P3-15 ゲーミフィケーションを用いたアノテーション付き対話データの収集基盤
小河晴菜 (東工大)
- P4-7 数学概念への数式グラウンディングのためのデータセット
朝倉卓人 (総研大/東大)
- P4-33 事前学習された多言語の文符号化器を用いた機械翻訳の品質推定
嶋中宏希 (首都大)

◇ 年次大会優秀ポスター賞

前回大会と同様に、参加者の投票によるポスター賞の表彰を企画していたが、現地開催の中止により断念した。

◇ まとめ

NLP2020 はコロナウイルス感染拡大防止のため、開催 1 ヶ月前に急遽、オンライン開催に変更した。慣れない中の短い準備期間であったが、滞りなくオンライン開催が行えた。参加者は 1,052 名 (招待以外は参加費の支払いを参加とした) であり、規模的にも大きな大会となった。事後アンケートは好意的な意見がほとんどで、NLP2020 のオンライン開催は成功したと言える。

NLP2020 はオンライン開催が最大の特徴となったが、以下の 3 点も特記しておく。1 点目は発表者会員制限の導入である。この制限のために発表件数の減少、入会のタイミング、会費入金の確認、会費未払いでの発表などいくつかの問題が懸念されたが、結果的には大きな問題は生じなかった。2 点目は現地設営作業の外部業者への委託である。年次大会の規模の拡大、現地実行委員の不足から、現地設営作業はほぼすべて外部業者 (インターグループ) に委託する形をとった。実際はオンライン開催に変更されたため、委託は全てキャンセルとなった。3 点目は秘書業務の外部委託の試行である。年次大会のサステナビリティのために、秘書業務を外部委託する形を試行した。しゅくみねっとに依頼し、現秘書の見習いの形で秘書業務のマニュアル作りを依頼した。

上記の施策はすべて前年までの開催形態下での規模拡大に対処するためのものであった。with コロナの時代になった今、これまでのように年次大会の規模拡大が進むかどうかはわからない。また年次大会の形態もどうなっていくかはわからない。そのため上記の施策の継続も再検討される必要があるし、新たな問題も生じてくることも考えられる。今後の大会運営が難しい局面に入ったと思われる。

5. ニュースレターの発行

2020 年には、ニュースレター Vol.27, No.1 - No.3 の 3 号を発行し、学会運営、大会案内、大会優秀賞、論文賞、言語処理技術セミナー開催などについて会員の皆さまへの情報提供を行いました。また、学会サイトの構成を修正してバックナンバーを参照しやすいように改良を行いました。

6. 理事会の開催

計 7 回の理事会を開催し、入退会会員の承認、事業計画、予算、論文賞選考、年次大会の方針、年次大会優秀賞、ニュースレター発行、関連学会等への協賛等について審議し決定しました。また、言語処理技術セミナーの開催や学会運営についても議論しました。

理事会開催:

第 133 回 (2020 年 1 月 21 日, 国立情報学研究所)

第 134 回 (2020 年 3 月 16 日, 茨城大学)

第 135 回 (2020 年 3 月 17 日, 茨城大学)

第 136 回 (2020 年 5 月 20 日, オンライン)

第 137 回 (2020 年 7 月 10 日, オンライン)

第 138 回 (2020 年 9 月 11 日, オンライン)

第 139 回 (2020 年 11 月 6 日, オンライン)

7. 編集委員会

◇編集委員会の会議

2020 年は、オンライン編集委員会を 2 回開催したほか、随時、メール審議の形式で編集委員会を開催し、採否決定の一層の迅速化に努めました。

編集委員会開催:

第 102 回 (2020 年 3 月 17 日, 遠隔会議 (Zoom))

第 103 回 (2020 年 9 月 24 日, 遠隔会議 (Zoom))

◇英文校正サービスとコーパス化

2020 年掲載論文について、12 件の論文のタイトルと概要の英文校正ならびに 7 件の英文論文の本文の英文校正を実施しました。また、多数の著者の協力を得て、校正前の英文と校正後の英文を「言語処理学会英文校正コーパス」として管理し、会員の求めに応じて提供しています。

◇2020 年度論文賞の選考

2020 年に出版された自然言語処理 27 巻 1 号から 4 号に掲載された論文 31 編より、編集委員会が賞に相応しい論文を推薦することを目指して、実施しました。選考は以下の手続きで実施し、一次投票は浅原正幸副編集長を選考委員長として内山将夫編集委員長および編集委員 36 名が、二次投票は荒牧英治渉外担当理事(編集委員兼務)を選考委員長として編集委員 21 名が、それぞれ選考委員会を編成して審査を行いました。

(最優秀論文賞)

最優秀論文賞 1 件につきましては年次大会の招待論文セッションで発表いたします。

(論文賞)

著者名: Chunpeng Ma, Akihiro Tamura, Masao Utiyama, Eiichiro Sumita and Tiejun Zhao

論文タイトル: Syntax-based Transformer for Neural Machine Translation

発行巻号頁: Vol.27 No.2, pp.445-466

著者名: Shohei Higashiyama, Masao Utiyama, Eiichiro Sumita, Masao Ideuchi, Yoshiaki Oida, Yohei Sakamoto, Isaac Okada and Yuji Matsumoto

論文タイトル: Character-to-Word Attention for Word Segmentation

発行巻号頁: Vol.27 No.3, pp.499-530

著者名: Chunpeng Ma, Akihiro Tamura, Masao Utiyama, Tiejun Zhao and Eiichiro Sumita
論文タイトル: Encoder-Decoder Attention $\neq$ Word Alignment: Axiomatic Method of Learning
Word Alignments for Neural Machine Translation
発行巻号頁: Vol.27 No.3, pp.531-552

著者名: 栗林 樹生, 大内 啓樹, 井之上 直也, 鈴木 潤, Paul Reiser, 三好 利昇, 乾 健太郎
論文タイトル: 論述構造解析におけるスパン分散表現
発行巻号頁: Vol.27 No.4, pp.753-779

◇自然言語処理の電子化

創刊号から2008年度までの本誌の全件が, JSTの電子アーカイブ事業により無償で電子化され JST のサイト Journal@rchive で公開されています. また, 2009 年度以降の本誌も, 上記 Journal@rchive と一体的に運営されている J-STAGE で公開されています. さらに, 論文誌の紙媒体発行を 2020 年末で終了しました. 今後は本誌発行日当日に J-STAGE で電子的に公開されます.

◇論文掲載数および投稿数

2020 年は, 通常号 4 号を出版し, 総計 31 編の論文を刊行しました. 「自然言語処理」への 2020 年の通常論文投稿数は, 昨年の 1.2 倍の 45 編でした.

◇新企画として学会記事を開始

第 27 巻第 3 号より新企画として学会記事を開始しました. 学会記事のトピックとしては, アカデミア向け, 企業向け, 若手向け等, 自然言語処理に関する会員に有用なトピックを幅広く考えています.

◇原稿執筆案内の改訂

本誌の国際化を進めることを目的として, 参考文献がアルファベット表記でない場合には, アルファベット表記を併記するように原稿執筆案内を改訂しました.

8. 助成, 協賛, 後援

以下の会議への助成, 協賛, 後援を行いました.

- (1) 第 11 回産業日本語研究会・シンポジウム (後援)
丸ビルホール 2020 年 3 月 6 日 (開催中止)
- (2) 第 23 回 画像の認識・理解シンポジウム(MIRU2020) (協賛)
オンライン 2020 年 8 月 2 日～5 日
- (3) JTF Online Weeks (翻訳祭 29.5) (後援)
オンライン 2020 年 11 月 9 日～21 日
- (4) 人工知能学会 合同研究会 2020 (協賛)
オンライン 2020 年 11 月 20 日～21 日
- (5) 第 18 回ロボット聴覚システム HARK 講習会 (協賛)
オンライン 2020 年 11 月 21 日
- (6) IDR ユーザフォーラム 2020 (後援)
オンライン 2020 年 11 月 24 日

9. その他

学会出版企画として刊行している「実践・自然言語処理シリーズ」(近代科学社)の第 4 巻『情報抽出・固有表現抽出のための基礎知識』が出版されました。

また、『テキスト処理の要素技術』が 2021 年 3 月に出版される予定です。

産業界向けのイベントとして、昨年に引き続き、言語処理技術セミナーを開催しました。2020 年 10 月 22 日にオンラインにて、364 名の参加者に対し、工藤拓先生(Google)、山田育矢先生(Studio Ousia/理研 AIP)、斉藤いつみ先生(NTT メディアインテリジェンス研究所)による講演を行いました。

一般社団法人言語処理学会 正味財産増減計算書

2020年 1月 1日から2020年12月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	[8,980,000]	[11,226,000]	[-2,246,000]	
正会員受取会費	(7,008,000)	(7,664,000)	(-656,000)	
正会員当年度	6,888,000	7,488,000	-600,000	@8,000円×936名
正会員過年度	40,000	96,000	-56,000	@8,000円×12名
正会員(シニア)当年度	80,000	80,000	0	@4,000円×20名
正会員(シニア)過年度	0	0	0	@4,000円×0名
学生会員受取会費	(472,000)	(1,452,000)	(-980,000)	
学生会員当年度	472,000	1,440,000	-968,000	@4,000円×360名
学生会員過年度	0	12,000	-12,000	@4,000円×3名
賛助会員受取会費	(1,100,000)	(1,700,000)	(-600,000)	
賛助会員当年度	1,100,000	1,650,000	-550,000	1口50,000円×33口
賛助会員過年度	0	50,000	-50,000	1口50,000円×1口
特殊購読会員受取会費	(400,000)	(410,000)	(-10,000)	
400,000	410,000	-10,000		
事業収益	[28,671,000]	[17,248,000]	[11,423,000]	
学術研究事業(年次大会)	(24,921,000)	(14,015,000)	(10,906,000)	
年次大会参加費	9,177,000	6,429,000	2,748,000	
年次大会懇親会費	2,654,000	0	2,654,000	
年次大会協賛・広告	13,090,000	7,586,000	5,504,000	
年次大会助成・補助	0	0	0	
普及啓発事業(HP・刊行物等)	(3,750,000)	(3,233,000)	(517,000)	
論文誌広告料	100,000	160,000	-60,000	
別刷代	2,505,000	2,365,000	140,000	
雑誌頒布収益	0	3,000	-3,000	
産業界向けイベント参加費	1,145,000	705,000	440,000	
受取補助金等	[0]	[0]	[0]	
雑収益	[33,264]	[78,541]	[-45,277]	
受取利息	264	264	0	
雑収益	33,000	78,277	-45,277	印税、著作権使用料
経常収益計	37,684,264	28,552,541	9,131,723	
(2) 経常費用				
事業費	[41,280,462]	[23,131,080]	[18,149,382]	
年次大会開催費	(24,805,462)	(11,489,475)	(13,315,987)	
年次大会運営サポート費	14,644,865	6,912,685	7,732,180	
受付代行費	1,279,364	1,578,441	-299,077	
資料作成費(印刷費)	1,022,015	788,436	233,579	
コンファレンスバック代	0	0	0	
プログラム委員会費	627,500	519,592	107,908	旅費、Web外注、START、雑費、懇親会費
年次大会会場費	2,917,111	376,826	2,540,285	会場費+送迎バス
年次大会人件費	0	0	0	
年次大会講師謝金等	500,000	90,000	410,000	
論文賞招待旅費	70,000	0	70,000	
代議員会等会議費	350,000	0	350,000	代議員会+スポンサー(朝食会、イブニング)
表彰関係費	300,000	439,789	-139,789	
年次大会懇親会費	2,759,908	0	2,759,908	
実施委員会費	0	9,280	-9,280	
託児委託費	100,299	0	100,299	
年次大会雑費	234,400	774,426	-540,026	その他雑費+プロジェクト管理ツール
普及啓発事業	(16,475,000)	(11,641,605)	(4,833,395)	
論文誌印刷費	3,800,000	5,606,436	-1,806,436	
論文誌通信運搬費	800,000	819,578	-19,578	
論文誌編集費	1,800,000	2,279,090	-479,090	
論文誌電子化費用	120,000	113,850	6,150	
編集委員会費	320,000	360,100	-40,100	
編集事務局費	1,500,000	1,098,822	401,178	
特殊購読・雑誌頒布経費	200,000	187,728	12,272	
論文誌活性化支援	200,000	303,580	-103,580	英文校正等の国際化支援
表彰関係費	260,000	214,660	45,340	論文誌の優秀賞の賞金・賞状等
若手研究者等の支援	100,000	0	100,000	若手研究者の研究会等の支援
国際会議開催費	0	0	0	
国際会議参加支援費	5,250,000	10,547	5,239,453	COLING2016寄付金の活用
産業界向けイベント開催費	1,825,000	647,214	1,177,786	
普及啓発事業雑費	300,000	0	300,000	国際会議の後援等
管理費	[4,023,000]	[4,264,570]	[-241,570]	
法人設立費用	0	0	0	
代議員選挙費用	(0)	(0)	(0)	2年ごと(奇数年)
業務委託費	(2,788,000)	(2,763,308)	(24,692)	
学会事務委託費	2,266,000	2,266,000	0	中西印刷(株)委託費
総務事務局費	0	0	0	総務事務局委託費(学会事務委託に編入)
税理士報酬	407,000	396,000	11,000	
社労士報酬	15,000	16,500	-1,500	2020から税理士報酬より分離
司法書士報酬	100,000	84,808	15,192	理事変更登記、約10万円、2年ごと(偶数年)
会費集金費	(490,000)	(594,258)	(-104,258)	
通信運搬費	(30,000)	(37,674)	(-7,674)	
租税公課	(500,000)	(673,600)	(-173,600)	法人市民税・住民税・消費税
振込手数料	(40,000)	(56,873)	(-16,873)	
HP関連経費	(85,000)	(76,396)	(8,604)	
雑費	(90,000)	(62,461)	(27,539)	理事会旅費など
経常費用計	45,303,462	27,395,650	17,907,812	
当期経常収支差額	-7,619,198	1,156,891	-8,776,089	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外収支差額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	-7,619,198	1,156,891	-8,776,089	
一般正味財産期首残高	55,384,684	55,737,647	-352,963	
一般正味財産期末残高	47,765,486	56,894,538	-9,129,052	

貸借対照表

2020年12月31日現在

一般社団法人 言語処理学会

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	62,797,986
未収金	225,272
前払金	2,767,083
仮払金	236
資産合計	65,790,577
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払金	2,866,039
前受金	50,000
前受会費	5,980,000
負債合計	8,896,039
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	
指定正味財産合計	0
2. 一般正味財産	56,894,538
正味財産合計	56,894,538
負債及び正味財産合計	65,790,577

財産目録

2020年12月31日現在

一般社団法人 言語処理学会

一般会計

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現金 預金	手元保管 銀行預金 ゆうちょ振替口座 みずほ銀行 ゆうちょ総合口座	運転資金として	24,646 62,773,340 31,675,007 23,561,429 7,536,904 225,272 2,767,083 236
未収金 前払金 仮払金			
資産合計			65,790,577
(流動負債)			
未払金 前受金 前受会費 前受正会員 前受学生会員 前受賛助会費 前受正会員(シニア)会費			2,866,039 50,000 5,980,000 4,304,000 504,000 1,100,000 72,000
負債合計			8,896,039
正味財産			56,894,538

附属明細書

貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書として記載すべき事項はありません。

一般社団法人言語処理学会 正味財産増減計算書

2020年 1月 1日から2020年12月31日まで

(単位:円)

科 目	決算額	備考
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
受取会費	[11,226,000]	
正会員受取会費	(7,664,000)	
正会員当年度	7,488,000	@8,000円×936名
正会員過年度	96,000	@8,000円×12名
正会員(シニア)当年度	80,000	@4,000円×20名
正会員(シニア)過年度	0	@4,000円×0名
学生会員受取会費	(1,452,000)	
学生会員当年度	1,440,000	@4,000円×360名
学生会員過年度	12,000	@4,000円×3名
賛助会員受取会費	(1,700,000)	
賛助会員当年度	1,650,000	1口50,000円×33口
賛助会員過年度	50,000	1口50,000円×1口
特殊購読会員受取会費	(410,000)	
	410,000	
事業収益	[17,248,000]	
学研究事業(年次大会)	(14,015,000)	
年次大会参加費	6,429,000	
年次大会懇親会費	0	
年次大会協賛・広告	7,586,000	
年次大会助成・補助	0	
普及啓発事業(HP・刊行物等)	(3,233,000)	
論文誌広告料	160,000	
別刷代	2,365,000	
雑誌頒布収益	3,000	
産業界向けイベント参加費	705,000	
受取補助金等	[0]	
雑収益	[78,541]	
受取利息	264	
雑収益	78,277	印税、著作権使用料
経常収益計	28,552,541	
(2) 経常費用		
事業費	[23,131,080]	
年次大会開催費	(11,489,475)	
年次大会運営サポート費	6,912,685	
受付代行費	1,578,441	
資料作成費(印刷費)	788,436	
コンファレンスバック代	0	
プログラム委員会費	519,592	旅費、Web外注、START、雑費、懇親会費
年次大会会場費	376,826	会場費+送迎バス
年次大会人件費	0	
年次大会講師謝金等	90,000	
論文賞招待旅費	0	
代議員会等会議費	0	代議員会+スポンサー(朝食会、イブニング)
表彰関係費	439,789	
年次大会懇親会費	0	
実施委員会費	9,280	
託児委託費	0	
年次大会雑費	774,426	その他雑費+プロジェクト管理ツール
普及啓発事業	(11,641,605)	
論文誌印刷費	5,606,436	
論文誌通信運搬費	819,578	
論文誌編集費	2,279,090	
論文誌電子化費用	113,850	
編集委員会費	360,100	
編集事務局費	1,098,822	
特殊購読・雑誌頒布経費	187,728	
論文誌活性化支援	303,580	英文校正等の国際化支援
表彰関係費	214,660	論文誌の優秀賞の賞金+賞状等

科 目	決算額	備考
若手研究者等の支援	0	若手研究者の研究会等の支援
国際会議開催費	0	
国際会議参加支援費	10,547	COLING2016寄付金の活用
産業界向けイベント開催費	647,214	
普及啓発事業雑費	0	国際会議の後援等
管理費	[4,264,570]	
法人設立費用	0	
代議員選挙費用	(0)	2年ごと(奇数年)
業務委託費	(2,763,308)	
学会事務委託費	2,266,000	中西印刷(株)委託費
総務事務局費	0	総務事務局委託費(学会事務委託に編入)
税理士報酬	396,000	
社労士報酬	16,500	2020から税理士報酬より分離
司法書士報酬	84,808	理事変更登記,約10万円,2年ごと(偶数年)
会費集金費	(594,258)	
通信運搬費	(37,674)	
租税公課	(673,600)	法人市民税・住民税・消費税
振込手数料	(56,873)	
HP関連経費	(76,396)	
雑費	(62,461)	理事会旅費など
経常費用計	27,395,650	
当期経常収支差額	1,156,891	
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益	0	
経常外収益計	0	
(2) 経常外費用	0	
経常外費用計	0	
当期経常外収支差額	0	
当期一般正味財産増減額	1,156,891	
一般正味財産期首残高	55,737,647	
一般正味財産期末残高	56,894,538	

●上記の通り報告いたします。

一般社団法人言語処理学会財務理事

山下達雄 

一般社団法人言語処理学会財務理事

富士秀 

●監査の結果、上記の結果に相違ありません。

一般社団法人言語処理学会 監事

田中英輝 

一般社団法人言語処理学会 監事

落谷亮 

2021年 2月 5日

監査報告書

2021年2月5日

一般社団法人 言語処理学会

会長 奥村 学 殿

一般社団法人 言語処理学会

監 事

田中英輝



監 事

落谷 亮



私たちは2020年1月1日から2020年12月31日までの2020年度における
一般社団法人言語処理学会の会計および業務の監査を行い、その結果を報告します。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査については、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査
手続を用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査については、理事会への出席、理事からの報告の聴取、関係書類の
閲覧などを行い、業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査の結果

- (1) 正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は会計帳簿の記載金額と一致、
法人の財政状況を正しくしめしているものと認めます。
- (2) 事業報告の内容は、事実に従い、法人の状況を正しく示していると認めます。

以上

2021 年度事業計画

1. 運営・活動方針

2021 年度もこれまで通り、論文誌「自然言語処理」の発行と年次大会の開催を中心に、言語処理学会の設立の目的に沿った運営・活動を進めます。さらに、2018 年度より開始した、自然言語処理技術の普及に向けたイベントを今年度も開催する予定です。

2. 会誌の発行

- ・ 第 28 巻第 1 号 (2021 年 3 月中旬発行予定, 通巻 127 号)
- ・ 第 28 巻第 2 号 (2021 年 6 月中旬発行予定, 通巻 128 号)
- ・ 第 28 巻第 3 号 (2021 年 9 月中旬発行予定, 通巻 129 号)
- ・ 第 28 巻第 4 号 (2021 年 12 月中旬発行予定, 通巻 130 号)

第 28 巻第 1 号から J-STAGE 上のオンライン出版に移行いたします。また、2018 年 1 月より同期式査読に移行し、すべての通常号の編集を予め設定したスケジュールに従って行っています。これにより「〇月〇日までに投稿すれば△月△日までに必ず採否が決まる」というように日程が保証されています。編集スケジュールは学会ウェブページに掲載しています。

3. 第 27 回年次大会の開催

2021 年 3 月 15 日(月)～3 月 19 日(金)に、北九州国際会議場にて第 27 回年次大会を開催します。例年通りの内容に加えて、3 年ぶりとなるワークショップを募集し、5 日間のプログラムとします。なお、社会情勢を考慮し、すべての発表・聴講をオンラインで行えるように準備します。

4. ニュースレターの発行

原則として、前年と同様の回数と内容で発行予定です。学会のメーリングリストを通じて配布します。これらは、学会のホームページにバックナンバーとして公開します。

5. 会議

◇社員総会

2021 年 3 月の年次大会に併せて、2021 年度社員総会を開催します。予算・決算、学会全体の活動の活性化に向けた施策、関連する研究分野との交流の促進などについて審議、承認します。

◇理事会

昨年度同様に 6 回程度開催します。論文等の電子的公開、年次大会の開催、他学会との連携などについて審議します。

◇編集委員会

編集委員会は、メールによる審議をベースとし、これまで通りの効率的な運営に努めます。会誌をより活性化し、会員にとってさらに魅力的なものとするために、論文の投稿促進施策や、学会記事における新たなコンテンツの企画などを継続的に検討します。

6. その他

自然言語処理技術の産業応用を促進するため、2020 年度に引き続き、産業界向けのセミナーを開催します。

一般社団法人言語処理学会 予算書

決算予測：2020年 1月 1日から2020年12月31日（12月7日時点予測）

（単位：円）

科 目	2020年予算額	2020決算予測(通年)	2021予算額	備考
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	[8,980,000]	[11,238,000]	[11,224,000]	
正会員受取会費	(7,008,000)	(7,672,000)	(8,088,000)	
正会員当年度	6,888,000	7,496,000	7,912,000	@8,000円×989名
正会員過年度	40,000	96,000	96,000	@8,000円×12名
正会員(シニア)当年度	80,000	80,000	80,000	@4,000円×20名
正会員(シニア)過年度	0	0	0	@4,000円×0名
学生会員受取会費	(472,000)	(1,456,000)	(1,436,000)	
学生会員当年度	472,000	1,444,000	1,424,000	@4,000円×356名
学生会員過年度	0	12,000	12,000	@4,000円×3名
賛助会員受取会費	(1,100,000)	(1,700,000)	(1,700,000)	
賛助会員当年度	1,100,000	1,650,000	1,650,000	
賛助会員過年度	0	50,000	50,000	
特殊購読会員受取会費	(400,000)	(410,000)	(0)	廃止のため0
400,000	410,000	0		
事業収益	[28,671,000]	[17,213,000]	[20,464,000]	
学術研究事業(年次大会)	(24,921,000)	(14,015,000)	(17,464,000)	
年次大会参加費	9,177,000	6,429,000	11,064,000	
年次大会懇親会費	2,654,000	0	0	
年次大会協賛・広告	13,090,000	7,586,000	5,400,000	
年次大会助成・補助	0	0	1,000,000	
普及啓発事業(HP・刊行物等)	(3,750,000)	(3,198,000)	(3,000,000)	
論文誌広告料	100,000	160,000	0	完全電子化で広告廃止
別刷代	2,505,000	2,330,000	2,300,000	別刷り代の代わりに掲載料
雑誌頒布収益	0	3,000	0	
産業界向けイベント参加費	1,145,000	705,000	700,000	
受取補助金等	[0]	[0]	[0]	
雑収益	[33,264]	[76,231]	[73,231]	
受取利息	264	264	264	
雑収益	33,000	75,967	72,967	
経常収益計	37,684,264	28,527,231	31,761,231	
(2) 経常費用				
事業費	[41,280,462]	[21,679,536]	[23,596,645]	
年次大会開催費	(24,805,462)	(11,489,475)	(17,366,645)	
年次大会運営サポート費	14,644,865	6,912,685	8,787,900	
受付代行費	1,279,364	1,578,441	1,648,784	
資料作成費(印刷費)	1,022,015	788,436	158,400	
コンファレンスバック代	0	0	0	
プログラム委員会費	627,500	519,592	596,436	
年次大会会場費	2,917,111	376,826	4,575,609	
年次大会人件費	0	0	0	
年次大会講師謝金等	500,000	90,000	400,000	
論文賞招待旅費	70,000	0	200,000	
代議員会等会議費	350,000	0	70,000	
表彰関係費	300,000	439,789	339,516	
年次大会懇親会費	2,759,908	0	0	
実施委員会費	0	9,280	500,000	
託児委託費	100,299	0	0	
年次大会雑費	234,400	774,426	90,000	
普及啓発事業	(16,475,000)	(10,190,061)	(6,230,000)	
論文誌印刷費	3,800,000	4,654,760	0	完全電子化により0円
論文誌通信運搬費	800,000	750,239	10,000	完全電子化により0円(+バックナンバー分)
論文誌編集費	1,800,000	1,855,810	2,900,000	前年度印刷費用に一部含まれていた編集費用が加算
論文誌電子化費用	120,000	111,100	120,000	
編集委員会費	320,000	357,511	350,000	会合費、旅費、他
編集事務局費	1,500,000	1,098,822	1,200,000	編集事務局給与
特殊購読・雑誌頒布経費	200,000	186,363	0	完全電子化により0円
論文誌活性化支援	200,000	303,035	300,000	英文校正等の国際化支援
表彰関係費	260,000	214,660	250,000	論文誌の優秀賞の賞金+賞状等
若手研究者等の支援	100,000	0	100,000	若手研究者の研究会等の支援
国際会議開催費	0	0	0	
国際会議参加支援費	5,250,000	10,547	0	COLING2016寄付金の活用(2021は無し)
産業界向けイベント開催費	1,825,000	647,214	1,000,000	
普及啓発事業雑費	300,000	0	0	IMT分担金等、弁護士相談料
管理費	[4,023,000]	[4,248,782]	[4,587,974]	
法人設立費用	(0)	(0)	(0)	
代議員選挙費用	(0)	(0)	(160,000)	2年ごと(奇数年)
業務委託費	(2,788,000)	(2,763,308)	(2,942,500)	
学会事務委託費	2,266,000	2,266,000	2,530,000	中西印刷(株)委託費
総務事務局費	0	0	0	総務事務局委託費(学会事務委託に編入)
税理士報酬	407,000	396,000	396,000	
社労士報酬	15,000	16,500	16,500	2020から税理士報酬より分離
司法書士報酬	100,000	84,808	0	理事変更登記、約10万円、2年ごと(偶数年)
会費集金費	(490,000)	(581,744)	(581,744)	
通信運搬費	(30,000)	(43,284)	(43,284)	
租税公課	(500,000)	(673,600)	(673,600)	法人市民税・住民税・消費税
振込手数料	(40,000)	(47,753)	(47,753)	
HP関連経費	(85,000)	(76,632)	(76,632)	
雑費	(90,000)	(62,461)	(62,461)	理事会旅費など
経常費用計	45,303,462	25,928,318	28,184,619	
当期経常収支差額	-7,619,198	2,598,913	3,576,612	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外収支差額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	-7,619,198	2,598,913	3,576,612	
一般正味財産期首残高	55,384,684	55,737,647	58,336,560	
一般正味財産期末残高	47,765,486	58,336,560	61,913,172	

2021 年度代議員構成

2018－2021 年度代議員		2020－2023 年度代議員	
相澤 彰子	国立情報学研究所	飯田 龍	情報通信研究機構
石下 円香	国立情報学研究所	今一 修	日立製作所
海野 裕也	Preferred Networks	北岡 教英	豊橋技術科学大学
岡崎 直観	東京工業大学	清田 陽司	LIFULL
奥村 紀之	大手前大学	古宮 嘉那子	茨城大学
乙武 北斗	福岡大学	高瀬 翔	東京工業大学
小磯 花絵	国立国語研究所	竹内 和広	大阪電気通信大学
柴田 知秀	ヤフー	田中 貴秋	NTT
鈴木 潤	東北大学	寺岡 丈博	拓殖大学
高橋 雅仁	久留米工業大学	難波 英嗣	中央大学
田村 晃裕	同志社大学	能地 宏	産業技術総合研究所
西崎 博光	山梨大学	森田 一	富士通研究所
泓田 正雄	徳島大学	山崎 智弘	東芝
藤田 篤	情報通信研究機構	山田 一郎	NHK
プタシンスキ ミハウ	北見工業大学	吉野 幸一郎	理化学研究所
三浦 康秀	富士ゼロックス		
山崎 誠	国立国語研究所		
計 17 名		計 15 名	